

立憲民主党
山口県第3区
総支部
20260519

しのだ知宏 瓦版



衆議院から地方議会へ

2月の衆議院選挙では、中道改革連合より立候補し、22,915票を投票していただきましたが、力及ばず落選いたしました。そして、「地域の課題に、もっと近い場所から取り組みたい」と考え、立憲民主党より地方議会を目指す決意をいたしました。

政治理念は、暮らしの中にある「不安」を少しでも減らすことです。日々の暮らしの中には、仕事、介護、子育て、人間関係、地域の問題など、さまざまな不安があります。多くの場合、「どこに相談すればいいのかわからない」ことが、さらに不安を大きくしています。

私は、必要な支援や解決策へ、できるだけ早く、簡単にたどり着ける仕組みづくりを進めていきます。



衆院選時のポスター

第一幼稚園跡地再開発問題

貴船町の下関市立第一幼稚園跡地の再開発計画が、問題となっています。当初、幸町保育園と名池保育園の廃園に伴い、「幼保連携型認定こども園」を中心とする多世代交流型複合施設を計画していました。これは、幼稚園と保育園の機能を一体化したものでした。

しかし、その後、「幼保連携型」という表現が削除されたことや「運営体制の変更」、「市長のコネ案件」などについて疑問の声が上がり、議会で基本構想の見直しが決定しました。

人口減少と厳しい財政事情が進む中での公共施設の新設は、今まで以上に慎重に検討する必要があります。道を挟んだ旧図書館跡地には、昨年開設されたばかりの「福祉プラザしものせき」もあります。

せっかくの公共施設が、次の世代にとって、ただの「負の遺産」にならないように…。



現在の第一幼稚園跡 福祉プラザしものせき

一人でも不安のない街へ

現在、下関市も含め、日本の多くの地域が少子高齢化と人口減少という大きな課題に直面しています。人が減ることで、これまで支え合っていた家庭や地域が維持できなくなっています。「限界集落」と呼ばれるところでは、地域そのものの存続も危ぶまれています。

今後は、人口が減っても「安心して暮らし続けられる街」にしていかななくてはなりません。とくに、一人暮らしが増えていきますので、

- 気軽に相談できる窓口
- 近くに立ち寄れる居場所
- 高齢者などへの見守り支援

といった、「孤立しない仕組み」が重要になります。

また地域全体としても、

- 移動しやすい交通環境
- 身体を動かしやすい環境
- 年齢を問わず働きやすい地域づくり

を進めていく必要があります。

「この街なら安心して暮らせる」、そう思える地域にすることで、人と街が活力を取り戻す第一歩になると、私は考えています。

☕ コーヒーブレイク 映画『アルプススタンドのはしの方』

舞台は甲子園。描かれるのはグラウンドのヒーロー達ではなく、「スタンドの端っこ」の高校生達。他の生徒から離れた場所でもどこか居心地の悪さを抱えた一群。会話が進むにつれて、登場人物それぞれの事情や悩みが少しずつ明かされていきます。

原作は、兵庫県立東播磨高校演劇部（※）のために書かれた戯曲で芝居は全国大会の最優秀賞。舞台設定がシンプルなもの、そのためです。映画版ではその後のエピソードが加えられ、ほのぼのした青春映画として仕上がっています。

監督：城定秀夫（2020年、75分）
出演：小野莉奈、平井亜門、中村守里
配信：U-NEXT、Amazon Prime（有料）

※東播磨高校の芝居はYouTubeに有り



予告編



山口県第3区総支部

しのだ知宏略歴

学歴：文関小、日新中、下関西高、法政大学
法学部政治学科、DeAnzaCollege 映画学科
職歴：(株)フレックス(テレビ朝日報道局内勤務)、下関市立大学(事務職員)

立憲民主党山口県第3区総支部

しのだ知宏後援会
住所：〒750-0009
下関市上田中町4-1-6
電話：083-222-3339

